

経営のヒント

2013年1月5日 Eテレで「秋元康 VS 300人の女社長」という番組があった。
私は、自分と同じような世代であり、活躍続けている秋元氏に対し、常に注目してきた。
この番組は、予告時から楽しみにしていた。
酒浸り正月の頭に「喝」が入り、今年の自分の基盤に彼の考えが活きている。

1 アイディアを生み出す

①脱・予定調和 ~をこわすしんどさをつづける

ex 校歌をつくる

今までのことばを使わない

今、見えているものはすべて過去

「アイドルは21歳までだわ」 これは過去

これをやってはいけない と思うことがダメ

②日常の気づきを生かす

日常の気づきに付箋を付ける

③一点突破

今まで一番おいしかった

幕の内弁当…思い出せない

うなぎ弁当…思い出せる

企画は一点突破

「あの」がつくとヒット

↓

人が伝える羽のようなもの

あの マフラー

あの 俳優 ※冬ソナ

あの 韓国

あの 秋葉原の女の子たち →AKB48

あの コーヒーを飲みたくなる

「新しい商品をAKBに使ってもらおう」という予定調和を脱しなさい！」

2 スランプからの脱出術

① 運が強いと思いつむ

努力は当たり前で、運がついてくるようにする
そのために、「運が強い」と思いつむ
嫌なことがあってもおもしろがる

アメリカで、タクシーから降りたときに犬のウンコを踏んでしまった。
これはどれだけの確率に巡り会えたかとおもしろがる

② 人生はデッサンと同じだ

だれも 間違えないようにすることはできない
右か左か迷うよりは進め
間違っていればもどる もどる力が必要
↓
体力、筋力=若さ

考えるのはダメ 答えがないときは止まらずもどる力が必要

③ 5勝4敗1引き分けの理論

人生は全勝より勝ち越せばよい
そうすれば冒険ができる
↓
バットを長く持たないとホームランは出ない
何も正解はない
やったもん勝ち、言ったもん勝ち
やらない言い訳をしてしまう

ニンジン嫌いな子にどれだけ言っても食べない
この宝石はすばらしい技術で・・・といっても買ってくれない

↓
高校生に婚約指輪つくってもいいのではないか
いいかげんな口約束
みんながつくる、買う、その時にこの指輪はいいねと理解される

3 まず、自分自身の心に聞け！

自分が絶対に欲しいものをつくれ
自分の興味を大切にす

常に選択肢がある
記憶に残ればよい
何も考えずに好きなことをするのが一番

(ここまでが秋元氏のお話)

自分のような年齢になると、何をするにも、失敗を恐れ、及第点を目指し、怒られないように批判されないようにします。

業界や商売対象がちがうと、秋元氏のアイデアがどこまで実現できるか、温度差があるかもしれないが、哲学・考え方だけは失いたくない。

「おまえはちょっとちがうな」「おまえは変わっているな」「おまえは変」と言われるくらいがいいのかもしれない。(実はもう十分に言われています)